

令和7年（2025年）度行政評価シート【個表】 令和7年6月23日

評価対象事業		評価者	農水課担当課長 菊池 薫和	
都整-30	鎌倉地域漁業支援施設整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	農水課
重点事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	6-(1) 産業振興	施策の方針	6-(1)-①農業・漁業の振興

1 事業の目的

対象	漁業従事者等
意図	鎌倉地域の漁業支援施設整備について検討するとともに、漁業者の就労環境の改善、漁船の安全確保、台風等の災害対策などの支援策を実施するため。
効果	支援策の実施により、鎌倉地域における漁業の安全性の向上を図る。

2 令和6年(2024年)度実施した事業の概要

- ・台風等の災害対策や漁業者の就労環境の改善を図るための支援施設を整備するにあたり、引き続き関係機関と協議を進めた。
- ・令和5年度から繰り越していた鎌倉地域漁業支援施設整備事業土木施設設計業務及び土質調査・深淺測量業務委託を完了した。
- ・漁業支援施設整備に必要な公有水面埋立申請に必要な図書を作成した。
- ・漁業支援施設整備に向け、防波堤工事の積算業務を行った。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和6年度		令和7年度	達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)		指標(目標値) 予算額(千円)	
01	土木工事設計業務	土質調査、深淺測量、土木施設設計の実施	—	— / —	— / 0	— / 0	—
02	防波堤工事の実施	防波堤工事実施に向けた積算資料の作成	—	— / —	4,422 / 4,675	— / 397,511	—
03	護岸等工事の実施	公有水面埋立願書の作成	—	— / —	10,142 / 13,519	— / 35,238	—
04	漁具倉庫等設計業務	漁業支援施設のパス図の加工	—	— / —	330 / 0	— / 581	—
05				/	/	/	
06				/	/	/	
07				/	/	/	
08				/	/	/	
09				/	/	/	
10				/	/	/	
		財源内訳	国県支出金	69,501 / 3,500	— / 324,561	— / 324,561	
			地方債	0 / 0	— / 87,700	— / 87,700	
			その他特定財源	0 / 0	— / 0	— / 0	
			一般財源	33,639 / 14,694	— / 21,069	— / 21,069	
			事業費の合計(千円)	103,140 / 18,194	— / 433,330	— / 433,330	
		人件費(千円)	— / —	— / 13,371	— / 17,074	— / 17,074	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1.2	1.2	1.2	1.0	1.7	2.0
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

## 5 評価結果

### (1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	土木工事設計業務	当該事業は、重点事業であり、漁業支援施設の整備を実施計画に基づき進捗管理するものであることから、指標の設定になじまない。	鎌倉地域は、漁業者の就労環境の改善が必要な状況で、当該事業は、鎌倉地域の漁業支援施設整備を行う一環であり、漁業振興に寄与するものであり、構成する事業として妥当である。	施設整備には、国・県との連携が不可欠であることから引き続き三者間の協議調整を行う。
02	防波堤工事の実施	当該事業は、重点事業であり、漁業支援施設の整備を実施計画に基づき進捗管理するものであることから、指標の設定になじまない。	鎌倉地域は、漁業者の就労環境の改善が必要な状況で、当該事業は、鎌倉地域の漁業支援施設整備を行う一環であり、漁業振興に寄与するものであり、構成する事業として妥当である。	施設整備には、国・県との連携が不可欠であることから引き続き三者間の協議調整を行う。
03	護岸等工事の実施	当該事業は、重点事業であり、漁業支援施設の整備を実施計画に基づき進捗管理するものであることから、指標の設定になじまない。	鎌倉地域は、漁業者の就労環境の改善が必要な状況で、当該事業は、鎌倉地域の漁業支援施設整備を行う一環であり、漁業振興に寄与するものであり、構成する事業として妥当である。	施設整備には、国・県との連携が不可欠であることから引き続き三者間の協議調整を行う。
04	漁具倉庫等設計業務	当該事業は、重点事業であり、漁業支援施設の整備を実施計画に基づき進捗管理するものであることから、指標の設定になじまない。	鎌倉地域は、漁業者の就労環境の改善が必要な状況で、当該事業は、鎌倉地域の漁業支援施設整備を行う一環であり、漁業振興に寄与するものであり、構成する事業として妥当である。	施設整備には、国・県との連携が不可欠であることから引き続き三者間の協議調整を行う。また、竣工後に漁業者が利用しやすい施設とするため、引き続き漁業者及び漁協と協議調整を行う。
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

### (2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない	
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	3 外部化ができる事業はない	
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない	
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある	
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない	
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である	
公平性	受益者負担は公正・公平か	△、負担未導入	△-1 今後、負担の導入を検討すべき事業がある
			△-2 市民等と協働して実施する事業はない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△、協働未実施	協働実施済の場合のパートナー

### (3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】  拡充  改善・変更  現状維持  縮小  休止・廃止

本事業は、鎌倉地域の漁業を安全で安定的に継続するための支援策として、必要最小限の漁業支援施設を整備することで、漁業者の就労環境の改善等を図るものである。

令和7年度は、①令和9年度までの3ヶ年にて実施する防波堤工事及び防波堤工事監理業務委託、②令和8年度着工に向けた護岸等工事の積算業務、③漁具倉庫の実施設計の実施に先駆けた下水道圧送管調査委託の実施により、重点事業の工程に沿って、着実な事業の推進を図っていく。

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	近隣市町の第1種漁港の令和5年漁獲量(令和6年港勢調査より) 単位:トン							
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	葉山町	逗子市			
他市実績	165.9	95.9	93.5	55.6	75.0			

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	近隣市町の第1種漁港の漁獲量を比較すると、本市の漁獲量はその他近隣市町と比べ上位に位置している。昨今は、漁獲量が減少傾向であったが、令和5年度は増加した。引き続き、本市の漁獲量が減少しないように、市として様々な支援策を実施する必要がある
--------------------------	--